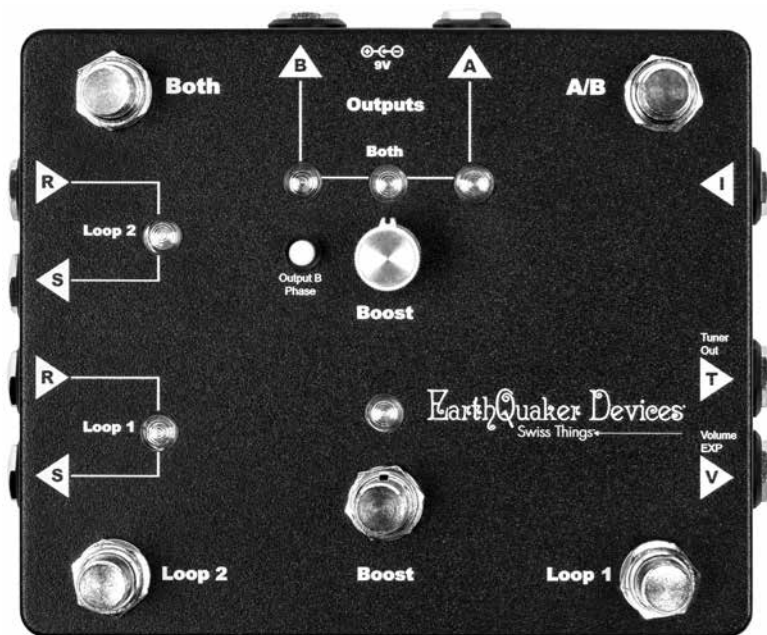


Swiss Things™



このたびはアースクエイカーデバイスのユーティリティペダル、スイス・シングスを購入して頂きありがとうございます!ご使用の際はこの説明書を読んで頂けるとエフェクトペダルのシステムのセッティング等、素早く対応出来ると思いますので是非お読みください。

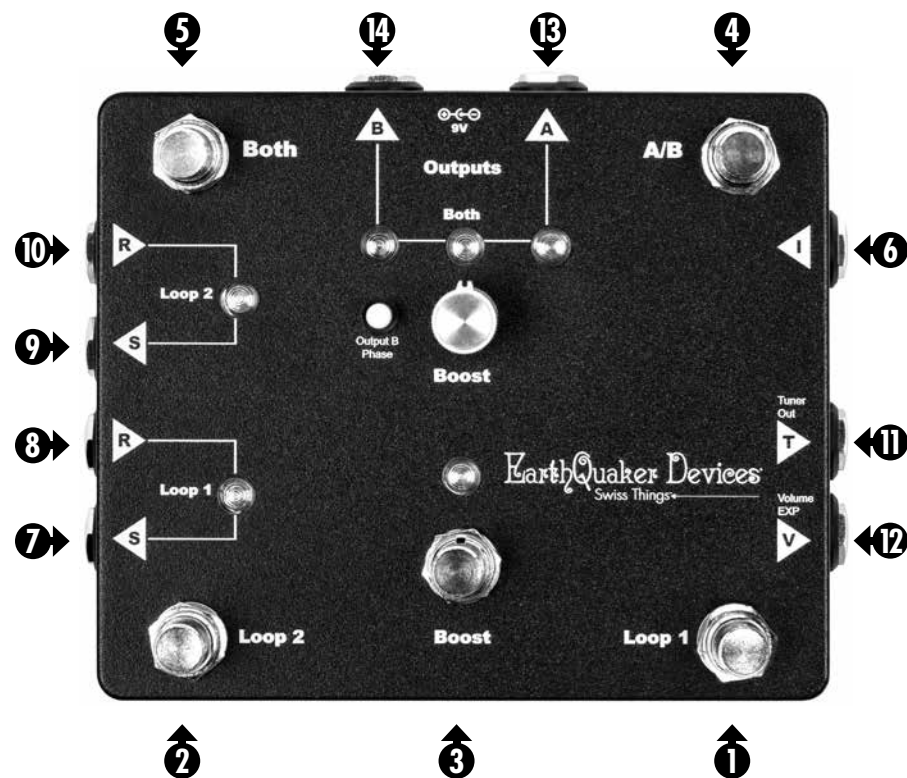
スイス・シングスは複雑なペダルボード上の信号の流れを一括でコントロール出来る物で、ペダルボード上の右上に設置される事を想定して設計されています。

トゥルーバイパス仕様、当社開発のフレキシスイッチを搭載した2系統のエフェクトループ、アイソレーショントランスフォーマーを使用したアウトプットはAB-Yで出力の選択が可能、バッファ搭載のチューナーアウト、最大20dBまでのクリーンブースト、外部エクスペッションペダルでコントロール可能なボリュームコントロール、そしてヘッドルームの高いアウトプットバッファを搭載しており、ペダルボード上のペダルの一括管理を簡単に、そしてコンパクトにまとめる事が可能になります。

スイス・シングスで出来る事

- ・音の劣化を気にせずに幾つもペダルを使える
- ・素早く簡単に全てのペダルをバイパス出来る
- ・ご使用中のどんなペダルもフレキシスイッチの使用が可能
- ・外部エクスペッション機能のボリュームコントロールを使用する事によって通常のボリュームペダル使用による音質の劣化の心配が無い
- ・複数のアンプ使用時の位相問題、グラウンドループやノイズ等の問題を解消
- ・信号の入力と出力の場所をまとめる事によって、ペダルボード上のペダル達をコンパクトにまとめる事ができ、長いケーブルの引き回しによる音質の劣化を防ぐ

<<< コントロール >>>



フットスイッチの各機能

- 1 Loop 1:** Loop 1のオン/オフ。このスイッチはフレキシスイッチ搭載でバッファ無し。ディストーション、オーバードライブやファズ等のペダルでバッファーとの相性の悪いペダルはこちらに。
- 2 Loop 2:** Loop 2のオン/オフ。このスイッチはフレキシスイッチ機能搭載でこちらはバッファーが搭載されています。ディレイやリバーブ等の空間系やモジュレーション等のペダルはこちらに。

注: Loop 2に何も繋がれていない場合はミュートスイッチとして機能します

- 3 Boost:** Boostのオン/オフ。フレキシスイッチ機能搭載で最大で20dBまでのクリーンブーストが可能です。回路上エフェクトループの後に搭載されており、アウトプットのブーストとして機能します。

- 4 A/B:** Output AとOutput Bの選択。

注: Output Bはアイソレーショントランスフォーマー搭載でPhaseスイッチを搭載しており、アンプの同時使用の際に起る位相の違いがある場合に有効です。

- 5 Both:** Output AとOutput Bの同時出力のオン/オフでフレキシスイッチ機能搭載。

入出力のジャック

- 6 Input:** 楽器の入力。

注: コンプレッサーやプリアンプ等の常にオンのペダルを使っている場合はスイス・シングスのInputの前に接続してください。

- 7 Loop 1 Send:** 歪み系ペダルのインプットに接続

- 8 Loop 1 Return:** 歪み系ペダルのアウトプットに接続

- 9 Loop 2 Send:** 空間系やモジュレーション等のペダルのインプットに接続

- 10 Loop 2 Return:** 空間系やモジュレーション等のペダルのアウトプットに接続

- 11 Tuner Output:** こちらからご使用のチューナーのインプットに。

注: ご使用中のチューナーは常にオンの状態にしておいてください。オフのバイパス状態ですと、グラウンドループノイズやハムが発生する場合があります。

- 12 Volume EXP:** エクスペッションペダルをここに接続してボリュームをコントロール。

注: 通常のボリュームペダルは信号に抵抗を掛けて音量を変化させてるので音質が悪くなるものが多いですが、バッファ搭載の出力を使用しているため、音質を変える事無く、通常のボリュームペダルと同様の効果を得られます。また、回路上Loop 1の後に搭載されており、歪み系のペダルをLoop 1で使用の場合はゲインの量を変えずに音量を変化させる事が可能です。

- 13 Output A:** こちらからアンプのインプットへ。

- 14 Output B:** こちらからもう1つのアンプのインプットへ。

注: ステレオ仕様のエフェクトとスイス・シングスを使用の場合は、エフェクトをOutput AとBの後に接続し、Bothスイッチをオンにしてください。

注: Output Bはアイソレーショントランスフォーマー搭載でPhaseスイッチを搭載しており、アンプの同時使用の際に起る位相の違いがある場合に有効です。

注: スイス・シングスとステレオ仕様のエフェクトを使用の場合は、Phaseスイッチをオンにしないでください。左右のアウトプット信号の位相が反転します。

<<< どのループを使っても同じですか? >>>

違います。**Loop 1**はバッファが搭載されて無く、オーバードライブ、ディストーション、ファズ等の歪み系との使用を想定されており、ビンテージのペダル等、バッファの影響を受けて無いピックアップからの直接の信号が必要なペダルはこのループを使用してください。**Loop 2**はバッファが搭載されており、ディレイやリバーブ等の空間系やモジュレーション等のペダルとの使用を想定されており、**Loop 2**になにも接続されていない場合はミュートとして機能します。

<<< 接続方法 >>>

1. スイス・シングスをペダルボードの右上に設置する。

注: コンプレッサーやプリアンプ等、常にオンで使用するペダル等は、信号の流れ上スイス・シングスの前で使用してください。

2. **Loop 1**のSendから歪み系のセクションの一番最初のペダルのインプットへ。

3. 歪み系のセクションの一番最後のペダルのアウトプットから**Loop 1 Return**へ。

4. **Loop 2**のSendから空間系、モジュレーション系のセクションの一番最初のペダルのインプットへ。

5. 空間系、モジュレーション系のセクションの一番最後のペダルのアウトプットから**Loop 2**のReturnへ。

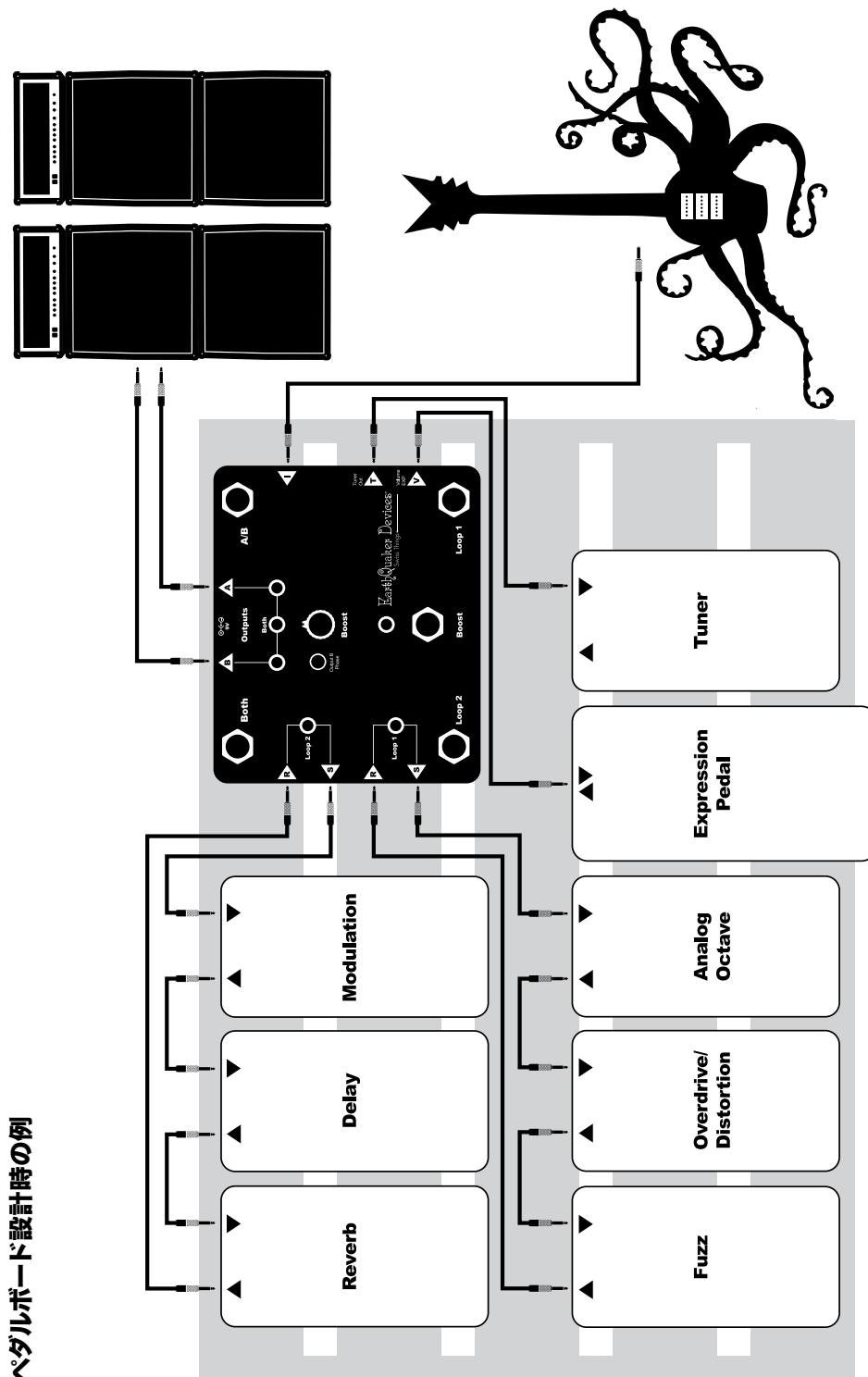
6. **Tuner Output**とチューナーを接続。その際はチューナーがオンになっている事を確認する。

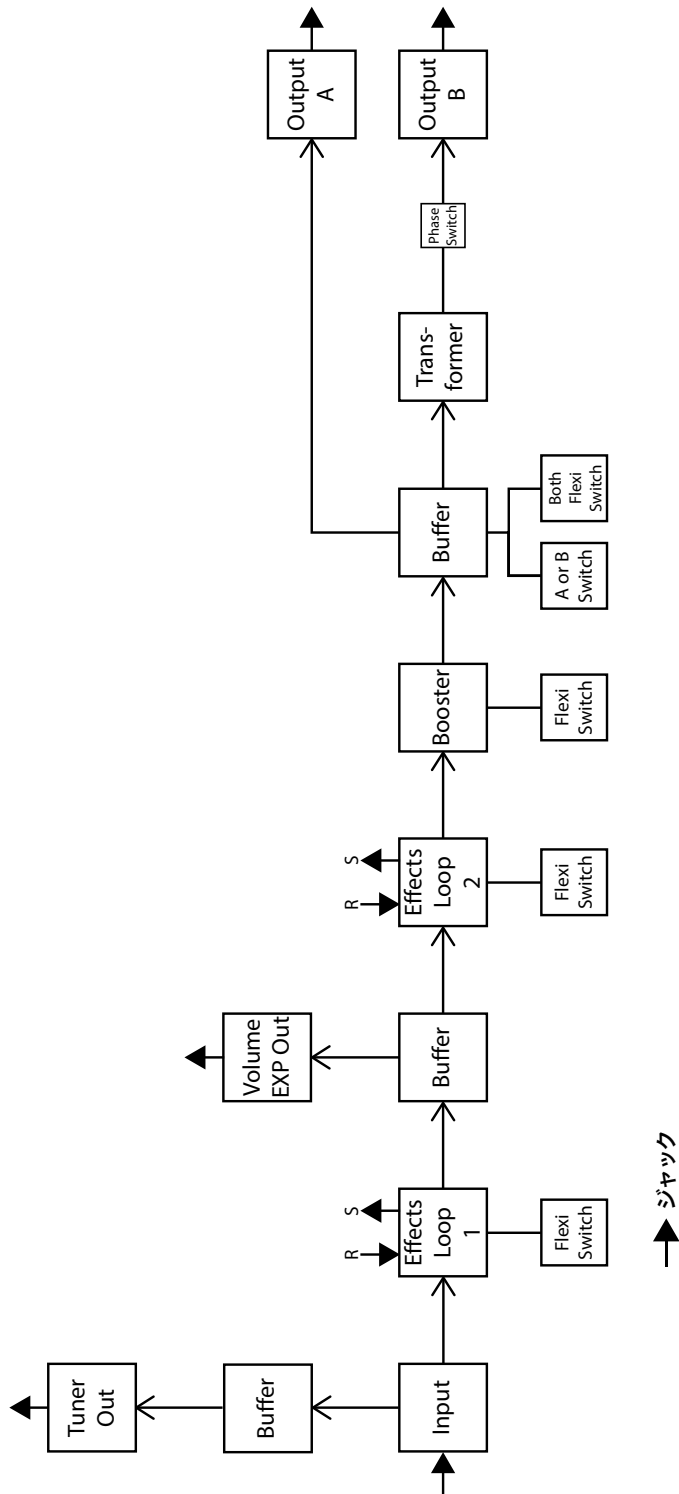
注: オフのバイパス状態ですと、グラウンドループノイズやハムが発生する場合があります。

7. ボリュームコントロールを希望の場合は**Volume EXP**に外部エクスペッションペダルを接続する。

8. Output AとBに使用するアンプを接続し、必要に応じて**Phase**スイッチを使用する。

ペダルボード設計時の例





<<<フレキシ・スイッチング >>>

この機種にはフレキシ・スイッチング機能が搭載されています。電子リレー方式のトゥルーバイパスで、踏み方の違いによって、通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ（アンラッチ式）としても使用可能です。

- ・ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにしたい時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- ・モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

<<< 電源 >>>

- ・消費電力: 40mA
- ・スィス・シングスは9V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用出来ます。デジチェーンやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。また9Vを超える電源は使用しないでください!

<<< Tech Specs >>>

- ・入力インピーダンス: 1M Ohm
- ・出力インピーダンス: 1k Ohm

<<< サイズ (サイズ) >>>

- ・57.15 x 120.65 x 143.51(mm)

<<< 保証 >>>

- ・1年保証



www.earthquakerdevices.jp

©2019 EarthQuaker Devices LLC